

デザインから考える地域創生 「DOOR ➤ ASIA」(DOOR to ASIA)

アジア若手デザイナー招へいプログラム～デザイナーズ・イン・レジデンス@東北～
12月1日～12月12日

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、12月1日から12日間、ASEAN諸国で活躍する若手デザイナー7名を東北被災地域に招き、「DOOR ➤ ASIA」(DOOR to ASIA) と題した「デザイナーズ・イン・レジデンス」事業を東北にて初めて実施します。

本事業では、異なる文化を持つアーティストたちが、一定期間協働しながら創造的作品を制作する「アーティスト・イン・レジデンス」の枠組みを活用し、新たにデザインの視点を取り入れながら、アジア各国の共通課題でもある「地域創生」と「自然災害」を背景にした「地域に貢献するデザイン」と「自然災害時のデザイナーの役割」を探求します。

今回は、ASEAN5か国(インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア)のデザイナー7名と日本のデザイナー4名が、東北被災地域での9日間にわたる共同生活(レジデンス生活)に参加。現地では東北の被災地域の事業者の協力のもと、地域資源を活用した商品製作の視察や体験を行い、実際に体感したものについてデザイナー同士で熟議を重ね、デザインによる地域創生や復興のあり方について考えます。さらに、東北地方の事業者にも、アジア各国で活躍する若手デザイナーとの交流を通じて、今後のアジア市場を見据えた新たな展開へのヒントを得られる機会となることを期待しています。

ぜひご取材をご検討いただけましたら幸いです。日程の詳細、取材のご希望につきましては、お問い合わせください。



■ 「DOOR ➤ ASIA」(DOOR to ASIA) 概要

【活動場所】 岩手県、宮城県、東京都

【日程】 2015年12月1日(火)～12月12日(土)

[東北] 2日～10日(10日に関係者向け報告会実施予定)

[東京] 1日、11日(11日に一般向け報告会実施予定)

<東京報告会 詳細>

日時:2015年12月11日(金)17時30分～19時

場所:サローネウーノ横山町 (住所:東京都中央区日本橋横山町 5-8 横山町奉仕会館 3F)

【参加者】 ASEAN5か国(インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア)デザイナー7名

日本側デザイン関係者(4名)

鈴木歩(ペンシー株式会社クリエイティブ・ディレクター)／樽見星爾(グラフィックデザイナー)／森孝幹(株式会社デザインフォース代表取締役、JPDA 国際交流担当理事)／矢部幹治(エージェント・ハムヤック株式会社代表)

【協力】 (株)石渡商店、(株)オノデラコーポレーション(アンカーコーヒー)

(株)八木澤商店、Three Peaks Winery

【ウェブサイト】 <http://door-to.asia/about.html> (ティザーサイト)

【主催】 独立行政法人 国際交流基金 【運営】 一般社団法人 つむぎや

●主催者・本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 文化事業部 事業第1チーム (担当:西藤)

Tel: 03-5369-6061

●取材に関するお問い合わせ: コミュニケーションセンター(担当:川久保、森)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp